

種まき用EM有機培土（プラグ苗用）の使用方法および使用上の注意

➤ 用途

- ・プロ農家、家庭菜園向け
- ・播種用（プラグ苗用）
- ・野菜用

➤ 特徴

- 1) ポット用有機培土に比べて養分が少なめ（芽出し用のため）
- 2) 有機 JAS 対応製品
- 3) ピートモス主体
- 4) 根張りを優先

➤ ご使用方法（育苗）

- 1) 袋から出し、タライやバケツなどの容器に入れて水（EM1 の 2000 倍希釈液）を十分に含ませる。乾いた塊がなくなるよう良く混ぜる。
- 2) 水を含ませた種まき用EM有機培土をプラグトレーに詰める（※）。
- 3) タネまきし、薄めに覆土します。
- 4) 使い慣れるまでは水やりの目安を知るためにプラグトレーを持ち上げて重さをみたり、下部が乾いていないかどうかを良く確認する。全体が湿っているように見えて、実際は土中が乾いていて、表面だけが湿っていることもある。

※乾いた状態でプラグトレーに詰めてから水をかけるのは厳禁！（使用上の注意 1）参照）

➤ 使用上の注意

1) 容器に入れる前に十分吸水

…種まき用EM有機培土をプラグトレーに詰める際は、事前に十分吸水（EM1 の 2000 倍希釈液）させます（乾燥したピートモスは、水をはじきますので、ジョロでの水やりではなかなか水を吸いません）。ただし、覆土用として乾燥したものを 1/10 程度の量を残しておきます。

2) 早目に鉢上げ、定植

…基本的に芽出しに使用するプラグ苗用の育苗培土です。有機栽培にあった生育をするよう養分を少なめにしていますので、発芽後はお早め（播種後 20 日程度、遅くとも 30 日程度）に鉢上げ（定植）することをお勧めします。播種後 2 週間以後は、必要に応じて液肥による追肥を行ってください。

3) 水やりは控えめに

…種まき用EM有機培土は保水性が高いため、過湿にならないように水やりは控えめにしてください。プラグトレーの底から水がしみ出ない程度に水やりします。夜間は表面が乾く程度が適量です。一旦全体が乾燥してしまうと水を吸収しにくくなりますので、ご注意ください。

4) 開封後は、早めに使い切ってください

…開封後は、早めに使い切ってください。乾燥しない様、できるだけ封を閉じてください。保管場所は、日光の当たらない冷暗所が適しています。

2013. 5. 2